

期末試験や期末レポートの中止について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年6月26日）

2020年5月12日回答の学生意見箱「CAP制について」では以下のように書かれています。

「大学設置基準 第二十一条では、1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとなっています。通常の授業科目は15週で実施されます。したがって、通常2単位の授業科目の場合は、授業時間と授業外学修（予習・復習）の時間を含め1週につき6時間の学修を必要とする内容をもって構成されており」

上記は、授業期間15週にわたって（今年度前期の全学共通科目は15週ではありませんが）2単位の授業1科目あたり1週につき6時間の学修を求めていると解釈できると思いますが、今年度はコロナウイルスの感染拡大の影響もありほとんどの科目でオンライン授業が実施されている関係で、毎週レポートなどの課題が課されている授業も、前年度までと比べると多いと思います。当然各々の授業は大学設置基準に基づいて実施されていると思いますから、これらの課題は、毎週6時間の学修を必要とする内容で構成されていると思います。一般に、期末試験の対策や期末レポートの作成に要する時間は、明らかに普段の週で課される課題よりも多いですから、コロナ禍によって毎週課題が課されている授業に関しては、最後の週のみ、そのような1週あたり6時間以上の学修を要するような期末試験や期末レポートを課すことは、大学設置基準に背くのではないのでしょうか。1科目でもそのような1週あたり6時間を超えるような時間を要する試験やレポートが課されると、他の科目の学修について十分な時間が取れなくなってしまう恐れがあります。従いまして、上記より、今年度前期、毎週課題が課されている授業に関して、1週あたり6時間を超えるような学修を要する期末試験や期末レポートを課することを中止するということを要望したいと思います。

【回答】（回答日：2020年7月31日）

（回答者：教育推進・学生支援部教務企画課）

試験の方法や課題については、部局及び授業担当教員の判断に委ねられています。また、課題に要する時間は、学生個人によって異なります。

以上より、1週あたり6時間を超えるような学修を要する期末試験や期末レポートを課することを中止することはできません。